

2024 年度第 4 回価格審査会の開催について

2024 年度 4 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2024 年 7 月 12 日(金) 10:00～12:00		
場 所	本部 6 F 大会議室		
委 員	松田 寛志	日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長	
	栞原 圭一	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長	
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長	
	辻 保人	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長	
	星野 正	東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)	
当 会	共通資材調査部	部長：大澤 勝、次長：小林 法雅	
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢	
	監査審査室	室長：黒澤 昭浩	
	調査統括部(事務局)	部長：柴尾 治、課長：本間 哲	

☐2024 年度第 3 回価格審査会議事録(案) 確認

☐2024 年度第 4 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1. 「建設物価」8 月号、「Web 建設物価」8 月号の価格動向	
・ 価格が上伸した資材（工事費）	
【Web 建設物価】	
H 形鋼（水戸市ほか11都市）、等辺山形鋼（札幌市ほか51都市）、線材製品（中部地区）、レディーミクストコンクリート（室蘭市ほか32都市）、再生砕石類（二戸市ほか14都市）、アスファルト混合物（金沢市ほか43都市）、芝（盛岡市ほか13都市）、建築用コンクリートブロック（新潟市）、燃料油（札幌市ほか46都市）、鉄スクラップ（青森市ほか29都市）ほか	
・ 価格が下落した資材（工事費）	
【Web 建設物価】	
レディーミクストコンクリート（鹿児島市）【一部規格】、再生砕石類（土浦市ほか1都市）、一般建築用木材（全国）、コンクリート型枠用合板（那覇市ほか）、ストレートアスファルト（全国）、構造用合板— J A S 品—（東京都 2 3 区ほか1都市）、鉄スクラップ（鳥取市ほか18都市）、非鉄スクラップ（名古屋市ほか3都市）ほか	
2. 比較資料	
・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明	

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	「樹木支柱丸太」が北陸地区で値上がり と値下がりと同時に起きているが、どの ような状況なのか。また、これは輸入材 かそれとも国産材か。	「樹木支柱丸太」は「杉支柱丸太」であり国産 材が中心である。加工費や運搬費等のコスト上 伸を受けて生産者が価格の見直しを行った際、 ほとんどの規格で値上げしたものの一部規格で 値下げしたためである。
質問 2	異形棒鋼の東京地区の市況コメントに 「しばらくは供給側と需要家のこう着状 態が続く」に続けて「目先、横ばいの公 算」と記載がある。「しばらく」と「目 先」では示す期間が異なるように感じる が、使い分けに何か理由はあるのか。	「しばらく」は、期間を明示していないが、 「目先」は、ほぼ 1 カ月以内の期間を示してい る。異形棒鋼や電線、燃料等の価格変動が激し い資材で先行きを示す場合は「目先」を使用す ることが多い。
質問 3	全般的に価格変動帯数が増加したとのこ とだが、その理由は輸送コストの増加が 多いのか。	値上げ要因としては、原材料費、人件費、エネ ルギー価格、輸送費高騰など様々であるが、こ こ最近では輸送費高騰の影響が比較的多いとみ られる。
質問 4	「移動式クレーン作業料金」の「保証日 数」が週休 2 日制浸透の影響から減少 し、実質的に作業料金が値上がりしたと のことだが、この「移動式クレーン作業 料金」の値上がりの影響は、今後どのよ うな分野に影響するのか。	「移動式クレーン作業料金」の実質的値上がり は、月極料金の「クローラクレーン」作業が対 象となるため、場所打杭工事や軟弱地盤処理工 事などの掘削関連工事に影響が出るとみられ る。
質問 5	配管用炭素鋼鋼管（ガス管）の値上がり 理由は何か。また、2 年前にも同資材は 値上がりしているが当時の値上がり理由 は何か。	配管用炭素鋼鋼管（ガス管）の値上がりは、エ ネルギー価格上昇を背景としたもので、2 年前 はウクライナ情勢による資源価格高騰を背景と したものである。
質問 6	ガスの値上がり背景にメーカー製造拠点 の統廃合を含めた減少があるとのことだ が、なぜメーカーは製造拠点等の統廃合 を行うのか。	メーカーは、原材料費やエネルギー価格の上 昇、「2024 年度問題」による運搬費の上昇な ど、様々なコストが上昇するなかで、製造工場 や充填所、配送拠点を統廃合することで、生産 の効率化を進め、コスト削減を実現する意図が ある。
質問 7	建築用コンクリートブロックが新潟地区 だけ大幅に上昇しているのはなぜか。	新潟地区の単価は、メーカーが原材料費や輸送 費の高騰を背景とした値上げが浸透したもので あり、大幅な値上がりではあるものの、他地区 と同水準となり、妥当な価格であると判断し た。

質問 8	軽量コンクリートが値上がりした背景と先行きをどのようにみているのか。	軽量コンクリートの値上がりの主要因は、原材料となる人工軽量骨材の大幅な値上がりと輸送費の上昇である。先行きは横ばいの見通しである。
質問 9	多くの地区で骨材価格が値上がりするなか、価格変動要因として、原材料費や輸送費の上昇以外に要因はあるのか。	骨材価格の値上がりの要因としては、生産量減少に伴う製品価格に占める固定費率上昇による値上げがある。
質問 10	「移動式クレーン作業料金」のように、週休 2 日制導入に伴う稼働率低下を要因とした実質的な値上げとなると、他の重機関係も値上がりしてくると思われるが、この 1 帯のみが値上げとなった要因はなにか。今後、他の重機にも影響がでるのか。	週休 2 日制の浸透は労務への影響が大きい。「移動式クレーン作業料金（クローラクレーン）」はオペレータ付きの月極料金であるため、月間労務稼働日の減少を受け、実質的に稼働日あたり単価が上昇した。一方、建機料金のみは賃貸料金などは週休 2 日制の影響を直接受けないため、「移動式クレーン作業料金（クローラクレーン）」（月極料金）のみが実質的な値上げとなっている。なお、建機リース全般で今後単価が上伸するかについては、需給バランスや各種コスト次第である。
質問 11	全般的な話で、値上げの要因の 1 つに「輸送コスト上伸」とあるが、燃料費や車両関連費といったコスト面だけではなく、輸送業界の需給面からの影響はあるか。	輸送力の需給バランスも輸送費上昇に影響を及ぼしている。例えば、今月の浜松地区レディーミクストコンクリートの補足コメントで「輸送能力の低下が懸念される中で、需要家は値上げを受け入れた」とあるが、まさに輸送力の需要に対して供給が間に合わなくなる懸念から値上げに至っている。レディーミクストコンクリートを例にすると、輸送車両のアジテーター車が足りない、アジテーター車はあってもドライバーがいない、など需要に対して輸送力の供給が不足する懸念は各地で生じており、今後更に、価格にも影響を及ぼすものと考えられる。
質問 12	入稿状況表の「舗装用補修材－ブランド品－」で、価格が下落したものと上伸したものがあるが、それぞれどういった傾向があるのか。	一般的に複数のメーカーが製造しており用途が近似している場合は、他社との競合が発生し価格は下がりやすい傾向にある。一方、1 社独占で製造している場合は、自社のコスト見合いで価格の上げ下げが自由に出来るが、ここ数年は、各種コスト増加を背景に価格は上がりやすい傾向にある。

質問 13	鉄スクラップの価格変動に関する説明コメントで「輸出価格の影響もある」とのことだが、東日本と西日本で見たときに東側だけが輸出の影響が大きく出ているのはなぜか。	需要家となる電炉メーカーの工場数は西側が若干多い程度だが、スクラップ発生量は東側のほうが多く、西側は国内消費割合が多いためスクラップが輸出に回る割合が少ない。対して、東側は西側ほどの生産量はなくスクラップが輸出に回る割合が多い。様々な要因はあるものの、主に東西のスクラップの発生量と電炉鋼の生産量の違いによって、輸出価格の影響の受けやすさに差がでている。
質問 14	ガス管の市況コメントに「エネルギーコストの高騰を理由に値上げ」とあるが、高炉メーカーが製造するガス管以外の製品はまだ影響を受けていないように見受けられる。高炉メーカーの製品全般に影響が出ると思われるが、ガス管以外の製品の動向はどうなっているのか。	高炉メーカーは、電炉メーカーよりも競合が少なく値上げの傾向にある。高炉メーカーが製造するガス管以外の製品にも影響は出ており、先月は高力ボルトの値上がりを確認している。その他、線材製品等、他の二次製品についても値上がりの傾向が見受けられる状況にある。
審議結果	「建設物価」8月号、「Web 建設物価」8月号の価格動向に問題はなかった。	

以 上